

金程中だより

川崎市立金程中学校だより
第10号
令和5年11月22日
保護者・生徒・地域の皆様

ふれあい体験広場が行われました

コロナ感染症の影響で開催が見送られていた「ふれあい体験広場」が10月7日（土）に久しぶりに行われました。地域の方を講師にお招きし、普段できない体験的な内容を学ぶことができました。また、美術部、メイキング部の部員もブースを出し、日頃の活動の成果を発揮しました。

【メイキング部部长】

メイキング部は、フェルトを使って傘のオブジェを作る体験ブースを出しました。初めてのふれあい体験広場でしたが、部員同士協力をして、成功させることができて良かったです。

【美術部部长】

自分たちでどのような体験を行うのか決めるところから始め、来てくれた人に教える練習を行ったり、どうすれば楽しんでもらえるかを考えました。当日は部員同士協力したことで無事に成功させることができました。



今秋は、イベントが多かったこともあり、前号で伝えきれていない記事について、お伝えします。「ふれあい体験広場」もコロナ禍の影響を受けて、実施ができなかった行事の1つでしたが、今年はPTAのふれあい委員さんが中心となって、地域の方々のご協力をいただき、久しぶりに実現することができました。生徒たちは、希望のコーナーに足を運び、日ごろの学校生活では味わうことのできない貴重な体験をしました。オレンジのはっぴに身を包んだ「ふれあい委員さんの企画」に、多くの生徒が一喜一憂していたり、「麻生高校の吹奏楽部」の素敵な演奏や、「チアリーディング部」の華麗な演技に感動したりしました。

今回ご協力をしてくださった「ストレッチポール」「科学実験」「ゲートボール」「チアダンス」「ラグビー」「ミュージックベル」「囲碁教室」「フラワーアレンジメント」「着付け教室」「羊毛フェルト」「ボッチャ」「硬筆・行書」「ネイル」「パソコン部（別日）」「メイキング部」「美術部」の皆様、ありがとうございました。



それぞれ講師の先生方は、短い時間でも生徒たちが満足できるように工夫を凝らしていただき、最後まで踊ったり、着物を着たり、完成した作品を持ち帰ったり、貴重な体験の場となりました。何よりも素敵だと感じたのは、学校と地域が、世代を超えて交流できたことです。これからの時代、世代を超えての対話やふれあいは、とても大切になってくると思います。金中生の礼儀正しさや優しさが、この体験でも感じ取ることができました。（校長 金子 清）



熱い想いが込められた襷、ゴールへ繋がる



10月27日（金）に、川崎市総合体育大会のラストを飾る駅伝大会が、川崎市等々力競技場及び緑地周回コースで行われました。

41名の部員は約1カ月間、厳しい練習に励んできました。当日は、金程中学校駅伝部に携わった全ての人の想いが込められた襷が、代表選手の手で見事ゴールまでつながりました。結果は、男子が30位、女子は40位と健闘しました。



今月号の「おじいちゃんのつづやき」は、裏面にあります。よかったら読んでください。

活躍光る 表彰の記録

- *川崎市連合文化祭「弁論大会」
最優秀賞（3年）
- *第34回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞
佳作（2年）
※1年生の時の作品
- *理科作品展
入選（3年）
入選（1年）
入選（1年）
- *川崎アンサンブルコンテスト 中学生の部
・金賞 木管八重奏（県大会へ）

・金賞 管打八重奏
- *ソフトボール部
・川崎市中学校女子新人ソフトボール大会 優勝（県大会へ）
・県中学校新人ソフトボール大会 ベスト8
- *剣道部
川崎市剣道連盟 創立記念剣道大会 中学生の部
・男子の部 優勝 金程中学校A
・女子の部 優勝 金程中学校A
敢闘賞 金程中学校B



Congratulations!